



太陽系と宇宙の広がり

◎

太陽と、太陽を中心として運動している天体の集まり。太陽と8つの と以下からなる。

: 火星と木星と木星の間にある小さな天体。 となり地球に落ちてくることもある。

: と細かいちりでできた天体。軌道が細長い楕円形のものが多い。

: 海王星の外側の、太陽系の天体。

惑星の種類	<input type="text"/>	<input type="text"/>
大きさ	<input type="text"/> い	<input type="text"/> い
特徴	主に岩石からなる→密度が <input type="text"/> い	主に気体からなる→密度が <input type="text"/> い
天体の例	<input type="text"/> 星、 <input type="text"/> 星、地球、 <input type="text"/> 星	<input type="text"/> 星、 <input type="text"/> 星、 <input type="text"/> 星、 <input type="text"/> 星

: 惑星のまわりを公転している天体。例： など

◎地球

生命が存在できる条件がそろっている。

- 液体の水：地球には平均気温が約 °C に保たれているため。
- : 重力によって保持されている。



◎宇宙の広がり

星座をつくる星々は、自ら光輝く である。光の速さで1年かかって進む距離を という。

星の明るさは1 、2 …という等級で表す。数字が小さいほど 。

恒星の集まりを といい、ガスのかたまりをともなったものを という。

太陽系や星座をつくる星々をふくむ、数千億個以上の恒星の集団を といい、これより外の恒星の大集団を という。